

「日本・ミャンマー国際消防防災フォーラム」の開催

参事官



日本・ミャンマー国際消防防災フォーラム



会場内の様子

1. はじめに

アジア諸国においては、経済発展や都市化が進展しており、国民の生命・財産や都市の重要インフラ等を火災や自然災害から守るため、消防防災体制を拡充する必要があります。このような中で、人命救助や消火、火災予防の技術や制度について、我が国の消防から学び、また、技術指導を受けたいという要望が増大しています。

こうした状況を踏まえ、消防庁では、我が国の消防防災技術・制度・体制等をアジア諸国に広く紹介する国際消防防災フォーラムを平成19年度から毎年開催しています。

本年度は、10月17日にミャンマー連邦共和国（以下「ミャンマー」という。）ヤンゴン市において、ミャンマー内務省消防局との共催により「日本・ミャンマー国際消防防災フォーラム」を開催しました。

2. フォーラムの概要

フォーラムでは、消防庁を代表して室田国民保護・防災部長、またミャンマー内務省を代表してKyaw Zan Myint内務副大臣の挨拶に続き、日本側ミャンマー側からそれぞれ3テーマの発表が行われ、その後、活発な意見交換が行われました。

ミャンマー側からの事前の要望に基づいて、日本側が火災予防制度と人材育成について説明を行ったところ、いずれもミャンマーの消防が抱える課題であり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、本フォーラムでの初めての試みとして、我が国の消防関係企業の方々（10社14名）にご参加いただき、製品の展示や紹介を行いました。ミャンマー側の参加者は、質と性能の良い日本製品を手に取り、熱心に説明を



日本企業による製品紹介

求めるなど関心の高さが窺えました。

3. おわりに

ミャンマーでは、今後、経済成長と都市化が急速に進展していく中で、火災予防を含む消防力の強化がますます重要になっていくものと思います。今回のフォーラムの成果が、そのための一助となることを期待しています。

発表テーマ

【日本側】

- 日本の消防概況と火災予防制度の概要
- 日本の消防職員の人材育成について
- 都市化における火災予防について

【ミャンマー側】

- ミャンマー消防局の火災・災害マネジメント
- 災害マネジメントにおけるミャンマー消防局の役割
- ミャンマーの火災予防システムについての分析・検討

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 永野
TEL: 03-5253-7507